

平成23年度 再評価対象事業一覧表

平成23年8月作成

事業計画	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			再評価の理由	事業進捗の状況及び見込み					上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		コスト縮減及び代替案立案の可能性の有無	前回審議年度	対応方針(原案)	
						着工	完了	(億円)		前年度迄事業費	進捗率	用地進捗率	H23年度事業費	H24年度以降事業費				B/C	分析基礎の要因の変化				
						上段：当初	下段：変更			(億円)	(%)	(%)	(億円)	(億円)				当初	現行				
水産部																							
漁港漁場課																							
漁港-6	地域自主戦略交付金(地域水産物供給基盤整備事業(一般))	深江地区(深江漁港)(深江漁場)	市	南島原市	<深江漁港> 護岸L=237m 防波堤L=70m 防波堤(改良)L=96m 泊地A=8,000m ² 物揚場L=145m 船揚場L=30m 物揚場(改良)L=260m 浮桟橋1基 道路(A)L=360mなど、道路L=660m 用地A=6,000m ² <深江漁場>:完了 養殖場A=3.05ha	H13	H22	37.3	事業採択後10年経過	32.5	84.6	-	1.0	4.9	南島原市総合計画(H20~H29)	近年の漁業環境の悪化により水産資源は減少傾向である。また漁業生産の不振から漁業後継者の減少及び漁業従事者の高齢化も深刻な問題となっている一方で、本事業により整備した漁場で海面養殖が生産額において増加傾向にある。	漁船の安全な停泊、係船を確保するとともに就労環境の改善を図るため、早期完成を要望されている。	1.24	1.16	・事業費の見直しによるもの ・完成年度の遅延によるもの ・漁船は減少傾向にあるが、漁港利用者は増加傾向にある。	代替案の可能性はない	H17	継続
					<深江漁場> 浮桟橋1基 道路(A)L=360mなど、道路L=660m 用地A=6,000m ² <深江漁場>:完了 養殖場A=3.05ha	H13	H25	38.4															

平成23年度 再評価対象事業一覧表

	事業計画						再評価の理由	再評価の視点										前回審議年度	対応方針(原案)				
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期		事業費 (億円)	事業進捗の状況及び見込み				上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析				コスト削減及び代替案立案の可能性の有無			
						着工			完了	前年度迄事業費	進捗率	用地進捗率				H23年度事業費	H24年度以降事業費				B/C	分析基礎の要因の変化	
						上段：当初			下段：変更	(億円)	(%)	(%)				(億円)	(億円)						当初
土木部																							
都市計画課																							
都計-2	街路事業	富の原鬼橋線	市	大村市	延長 L=705m 幅員 W=16m	H9	H22	28.2	再評価後5年経過	13.3	49	99	2.2	11.8	池田沖田線街路事業(供事業：H20～H29) ・大村市都市計画マスタープランに幹線道路として位置付けされている。	社会情勢の大きな変化はない。 ・当路線の沿線地域の新しい住宅化に伴い人口及び交通量が増加している。	地元住民は早期開通を望んでいる。	1.50	1.50	事業費の減 ・原単位の変更	可能な限りコスト削減を図る ・代替案の可能性はない	H18	継続
						H9	H26																
都計追-1	土地区画整理事業	東長崎平間・東地区	市	長崎市	施行面積：58.8ha 建物移転：348戸 宅地面積：36.0ha 道路延長：18,390m	H12	H23	151.0	社会情勢の変化に伴う事業見直しにより、再評価するもの	44.9	43	-	10.5	49.6	長崎市第四次総合計画 ・都市計画マスタープラン ・東長崎矢上地区の事業完了に伴う換地処分(H20.2)	人口減少や土地価格の下落等の宅地需要の低下	事業区域を縮小し、事業を早期完成させることを強く望んでいる。	5.10	2.47	マニュアルの変更 ・交通量(道路交通センサス値)の変化	工事発生土の地区内流用、宅地擁壁の2次製品利用・代替案無し	H21	見直し継続
					施行面積：30.0ha 建物移転：209戸 宅地面積：20.2ha 道路延長：9,770m	H12	H28																

平成23年度 再評価対象事業一覧表

平成23年8月作成

事業名	施設名	事業主体	事業計画			再評価の理由	再評価の視点														前回審議年度	対応方針(原案)
			事業箇所	事業概要	工期		事業費 (億円)	事業進捗の状況及び見込み				上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		コスト縮減及び代替案立案の可能性の有無					
					着工			完了	前年度迄事業費	進捗率	用地進捗率				H23年度事業費	H24年度以降事業費		B/C	分析基礎の要因の変化			
					上段：当初			下段：変更	(億円)	(%)	(%)				(億円)	(億円)		当初	現行			
道路維持課																						
道維-2	道路改築事業 (社会資本整備総合交付金事業)	新烏帽子岳線	佐世保市	佐世保市	延長 1.07km 幅員 6.0(10.0)m	事業採択後 10年経過	5.3	54	98	1.2	3.4	烏帽子スポーツの里整備事業(H21～H25)	平成17年、18年、22年に市町合併(1市6町)が行われ広域行政サービスへの動きが見られる。	早期完成を望まれている。	-	1.19	当初算出なし	代替案の可能性はない	-	継続		

平成23年度 再評価対象事業一覧表

事業計画										再評価の視点													
事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			再評価の理由	事業進捗の状況及び見込み					上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析			コスト削減及び代替案立案の可能性の有無	前回審議年度	対応方針(原案)	
					着工	完了	事業費(億円)		前年度迄事業費	進捗率	用地進捗率	H23年度事業費	H24年度以降事業費				B/C	分析基礎の要因の変化					
					上段:当初	下段:変更	(億円)		(%)	(%)	(億円)	(億円)	当初				現行						
港湾課																							
港湾-1	長崎港改修事業	小ヶ倉柳地区ターミナル再編事業	県	長崎市	【補助事業】 岸壁(-10m)170m 岸壁(-7.5m)130m 道路600m 【起債事業】 ふ頭用地53,000㎡	H19	H24	30.0	事業採択後5年経過	43.0	63	-	8.5	16.6	官民が一体となり組織化された「長崎港活性化センター」により、輸出コンテナ助成制度等の事業が実施されている。直轄事業にて隣接する-12m岸壁を整備中。	客船連続建造体制の確立へ向けた官民の取り組みが進められている。	早期完成が望まれている。	2.60	1.30	地盤が想定よりも軟弱だったことによる事業費の増。	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	-	継続
					H19	H25	68.1																
港湾-3	大島港改修事業	神ノ浦地区小型船だまり整備	県	平戸市	防波堤 30m 道路(改良) 4×200m 物揚場(-3m)(突堤) 30m 防波堤(東) 55m 道路(改良) 4×240m 物揚場(-3m)(突堤) 30m	H13	H17	4.5	社会情勢の変化(景観配慮に伴う施設配置の見直し)	11.1	76	-	0.0	3.6	平戸市総合計画の「自然と共生した安全で快適な生活基盤の確保」に位置づけられている。	当地区は、昔ながらの街並みが残る地域であるため、H19に「平戸市大島村神浦伝統的建造物群保存地区」、H20に「重要伝統的建造物群保存地区」(以下:伝建)に選定されている。本事業はこれらを踏まえ、H17~H20まで地元と景観的な調整及び検討を行い、道路法線を見直し工事を再開した。その後、防波堤については、伝建審議会に諮り、景観に配慮した構造とすることで承諾されH22完了の予定だったが、H22.8月に地元のNPO法人より計画見直しの意見が出されたため再度調整を行い、防波堤を取止めて東防波堤の延伸で合意した。なお、漁船の安全な係留のために早期完成が望まれている。	漁業関係者からは早期完成の要望が強いが、景観を重視する関係者もいる。	法線見直しや整備施設の変更による事業費の増フェリー利用者に対する移動費用削減便益を追加	1.24	1.13	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	-	見直し継続
					H13	H25	14.7																

平成23年度 再評価対象事業一覧表

平成23年8月作成

事業計画	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			事業費 (億円)	再評価の理由	再評価の視点										前回審議年度	対応方針 (原案)			
											着工	完了	前年度迄 事業費 (億円)	進捗率 (%)	用地 進捗率 (%)	H23年度 事業費 (億円)	H24年度 以降事業 (億円)	上位計画への 位置づけ、関 連事業の状況	社会経済 情勢の変化	地元等 の意向			費用対効果分析		コスト縮減 及び 代替案立案の 可能性の有無
																							B/C	分析基礎の 要因の変化	
											当初	現行													
河川課																									
河川 -4	総合流域防災事業	湯江川	県	島原市	改修延長 L=1,200m 河道拡幅、河床掘削、護岸 整備、橋梁架替、堰改築等	H4	H23	10.9	再評価後 5年経過	4.4	40.2	90.3	0.1	6.5	・島原市市勢振 興計画の中で、 「防災対策等生 活環境の整備」 に河川整備が 重点事業として あげられている。 ・社会情勢に大きな変化 はない。 ・特に開発計画もなく、人 口の変動も少ない	早期完成を要 望。	2.66	1.96	・資産評価額の時 点修正 ・過去の費用にも 割引率を適用 ・完成年度の遅延	・可能な限りコ スト縮減を図 る。 ・代替案の可能 性はない。	H18	継続			
					H4	H28	10.9																		

平成23年度 再評価対象事業一覧表

平成23年8月作成

事業計画	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			再評価の理由	事業進捗の状況及び見込み				上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		コスト縮減及び代替案立案の可能性の有無	前回審議年度	対応方針(原案)	
						着工	完了	(億円)		前年度迄事業費	進捗率	用地進捗率	H23年度事業費				H24年度以降事業費	B/C				分析基礎の要因の変化
						上段：当初	下段：変更			(億円)	(%)	(%)	(億円)				(億円)	当初				現行
砂防課																						
砂防-1	火山砂防事業	鳴見川(二)	県	長崎市	砂防堰堤 1基 取付護岸工 L=68.5m 管理用道路L=187.5m	H14	H17	4.0	事業採択後 10年経過	1.3	33	100	0.5	2.2	・長崎県総合計画の中で、「安全・安心で快適な地域をつくる」に関する政策の中で土砂災害防止施設整備があげられている。 ・社会情勢に大きな変化はない。 ・住宅の新築により、人家戸数がわずかに増えている。	早期完成が望まれている。	5.88	6.25	受益戸数の増加	代替案の可能性はない	-	継続
					H14	H26	4.0															